



II 府民教養講座「自治体と住民」について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/1719

人間関係学科では、平成元年より学部専門科目（教育学・社会学特殊講義）兼府民教養講座として「自治体と住民」を開講している。この講座は、市民生活における自治体の役割、市民と行政の関係について具体的に講義している。このような実績を踏まえ、本専攻においても教育活動を強化して、高度化してきた市民の学習ニーズに応える。

報告Ⅱ

府民教養講座「自治体と住民」について

本学科の府民教養講座「自治体と住民」は、市民・自治体住民・主婦としての生活経験から、大阪府立の女子大学である本学において、自治体と住民に関する基礎的かつ実際的な知識を深く学びたいという公開講座受講生や社会人学生の強い希望を受けて、大学開放をよりいっそう充実させる目的で、一九八九（平成元）年度より開講した。その開設主旨や、一九八九年度および一九九〇年度における講師とそのテーマについては『人間関係論集』七号で報告したので参照されたいが、本講座は男女府民を対象にすると同時に、本学科の専門教育科目（「特殊講義」二単位）に指定して本学学生にも受講を勧めているところに特色がある。また、研究者のみならず、自治体職員、住民運動の代表、民間研究機関のスタッフなど多彩な人材を講師に委嘱してリレー講義を展開し、自治体と住民に関する諸問題を多面的に考察しようとしているところにも、大きな特色がある。

一九九一（平成三）年度、一九九二年度の両年度にわたって、「自治体と住民」の講義テーマを「生涯学習社会に向け

て」として開講したが、一般府民および本学学生のほか、府下各自治体の生涯学習関連部署の担当職員の聴講があった（一九九一年度八市町一三名、一九九二年度一〇市町二〇名）。毎週の講義の後、その週の講師と聴講者、本学科担当教員（複数）との懇談の時間を設定しているが、その場合は、講師、本学科教員、自治体職員、府民相互の生涯学習に関する活発な意見交換、情報交換、交流の場として機能している。一九九三年度も講義テーマを「生涯学習社会に向けてⅢ」として開講することとなっている。

一九九一年度 「自治体と住民——生涯学習——」（大阪女子大学府民教養講座・人間関係学科特殊講義、前期・月曜日

第四限）

四月一五日 中嶋 昌彌（大阪女子大学教授・社会学）

「オリエンテーション」

四月二二日 小股 憲明（大阪女子大学助教授・教育学）

「学歴社会と生涯学習社会——臨時教育審議会答申との関連で——」

五月一三日 荒瀬 健一郎（大阪府教育委員会社会教育課参事・社会教育）

「生涯学習社会に向けた大阪府のとりくみ」

五月二〇日 福富 和夫（前長岡京市中央公民館長・社会教育）

「生涯学習社会に向けた長岡京市のとりくみ」

五月二七日 同右

六月 三日 中田 順造（大阪女子大学教授・体育学）

「生涯スポーツ」

六月二〇日 山吉 長（大阪女子大学名誉教授・いづみ健老大学長・教育学）

「高齢者の生涯学習——いづみ健老大学の実践を例として——」

六月一七日 森 実（大阪教育大学助教授・同和教育）

「識字学級・夜間中学の実践」

六月二四日 安井 美鈴（大学入学情報図書館RENA主宰・社会学）

「大学への多様な道——RENA利用者を例として——」

七月 一日 笠原 克博（大阪女子大学教授・教育学）

「社会人学生の全国実態調査の結果について」

七月 八日 シンポジウム

「生涯学習社会に向けた課題と展望」

パネラー

荒瀬健一郎（中河内教育事務所長、前大阪府教育委員会社会教育課参事）

小股 憲明（大阪女子大学助教授・教育学、講座「自治体と住民」担当）

加藤 文子（清教学園高等学校講師、大阪女子大学社会人学生第一期卒業生）

福富 和夫（前長岡京市中央公民館長）

山吉 長（大阪女子大学名誉教授、いづみ健老大学学長）

司会

中嶋 昌彌（大阪女子大学教授・社会学、講座「自治体と住民」担当）

一九九二年度 「自治体と住民——生涯学習社会へむけてⅡ——」（大阪女子大学府民教養講座・人間関係学科特殊講

義、前期・月曜日四限）

四月二〇日 中嶋 昌彌（大阪女子大学教授・社会学）

「オリエンテーション」

四月二七日 上田 正昭（大阪女子大学学長）

「生涯学習と基本的人権」

五月二一日 柳父 立一（大阪女子大学助教授・社会教育）

「公民館と住民」

五月二五日 山田 潤（大阪府立今宮工業高等学校定時制教諭・英語）

「定時制高等学校と単位制高等学校」

六月 一日 清原 桂子（関西大学講師・社会教育学）

「女性問題（男性問題）と生涯学習」

六月 八日 藤井 肇（朝日カルチャーセンター常務取締役）

「民間カルチャーセンターの現状」

六月二五日 津村 明子（大阪府生活文化部長）

「大阪府の文化行政と生涯学習」

六月二三日 笠原 克博（大阪女子大学教授・教育学）

「社会人学生に関する実態調査の報告」

六月二九日 塩田 薫（堺市教育委員会社会教育課長）

「堺市の生涯学習施策について」

七月 六日 山下 征紀（総研ABC代表取締役・産能大学事業本部講師）

「職業生活と企業内教育」

九月一四日 シンポジウム

「生涯学習社会に向けた課題と展望 Part 2」

パネラー

今西 幸蔵（大阪府立文化情報センター主任専門職員）

柳父 立一（大阪女子大学助教授・社会教育）

樋口 満代（大阪府民、「自治体と住民」受講者）

南部 一郎（守口市教育委員会社会教育課、「自治体と住民」受講者）

司会

小股 憲明（大阪女子大学助教授・「自治体と住民」担当）

九月二一日 佐藤 浩一（甲南女子大学教授・視聴覚教育）

「生涯学習社会におけるメディアの役割」

一九九三年度 「自治体と住民——生涯学習社会へむけてⅢ——」(大阪女子大学府民教養講座・人間関係学科特殊講

義、前期・月曜日四限) 開講予定

四月一九日 笠原 克博(大阪女子大学教授・教育学・大阪府生涯学習懇話会委員)

「開講にあたって——生涯学習社会とは——」

四月二六日 浅田 洋子(奈良女子大学大学院学生・教育学・大阪女子大学社会人学生第二期卒業生)

「イギリスにおける大学エクステンション」

五月一〇日 小股 憲明(大阪女子大学助教授・教育制度)

「日本における大学開放の現状と課題」

五月二七日 今西 幸蔵(大阪府立文化情報センター主任専門職員)

「大阪府立文化情報センターの活動」

五月二四日 柳父 立一(大阪女子大学助教授・社会教育)

「生涯学習情報提供システムの現状と課題」

五月三一日 谷村 覚(大阪女子大学教授・発達心理学)

「発達課題と生涯学習」

六月 七日 中嶋 昌彌(大阪女子大学教授・社会学)

「日本の学習団体と学習文化」

六月一四日 岡本 知明(大阪国際平和センター理事長・大阪府生涯学習懇話会委員)

「ピースおおさかと市民の学習活動」

六月二一日 松田 孝一（大阪府教育委員会社会教育課首席指導主事）

「大阪府の生涯学習政策の課題と展望」

六月二八日 予備日

七月 五日 大西 珠枝（掛川市教育長・元文部省リフレッシュ教育企画官）

「国の生涯学習政策と掛川市の生涯学習施策」

九月一三日 青木 隆嘉（大阪女子大学教授・教育人間学）

「人間存在と生涯学習」

九月二〇日 予備日

報告Ⅲ

「生涯学習研究会」の活動と「生涯学習研究センター」設置計画について

一 「生涯学習研究会」の活動

生涯学習を実証面、理論面から総合的に研究して行くには、さまざまな学問分野の研究者・現場スタッフの共同が必要である。一九八九（平成元）年十一月、本学科の教員を中心に設置した「生涯学習研究会」（笠原克博代表）は、教育学・社会学・心理学・哲学・法学・文学・体育学などの学内教員に加えて、自治体や民間学習情報機関のスタッフをメン